

# 令和6年度 協働についての意識調査 集計結果

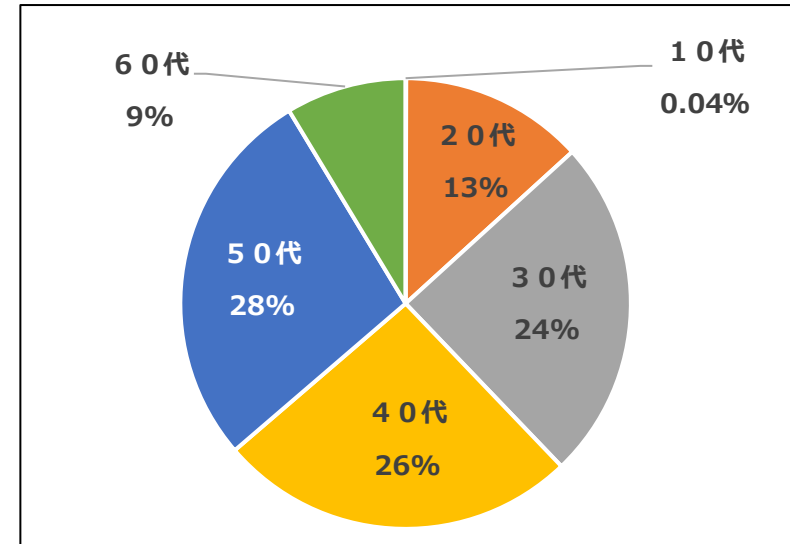
■ 対象者数	2,898 人
■ 有効回答者数	2,196 人
┌ 庁内ネットワークによる回答	2,196 人
└ 書面による回答	0 人
■ 回答率	75.8 %

高松市 市民局 地域協働部 協働コミュニティ推進課

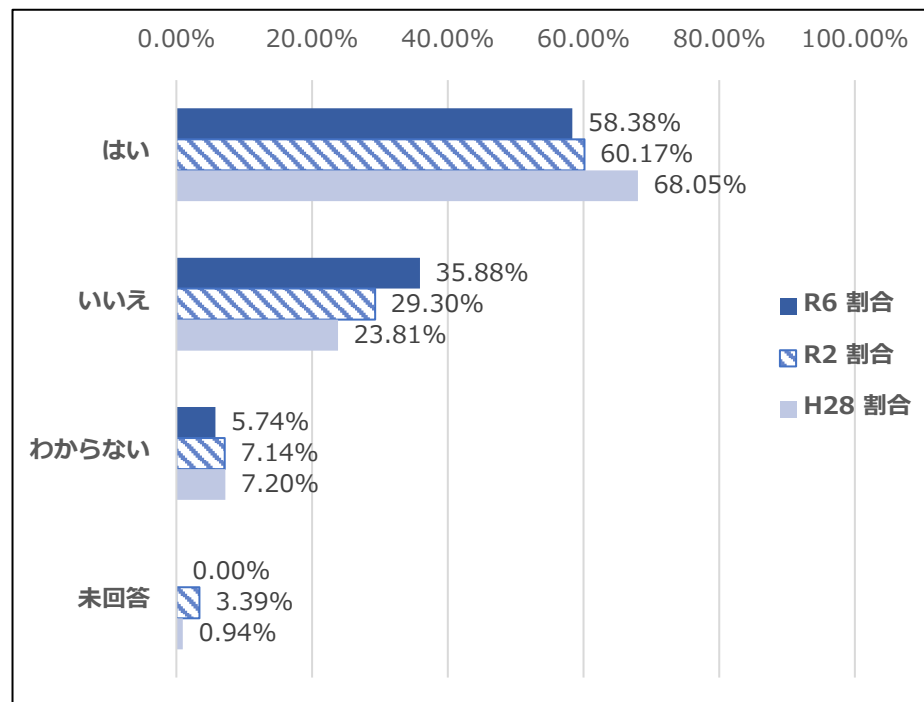
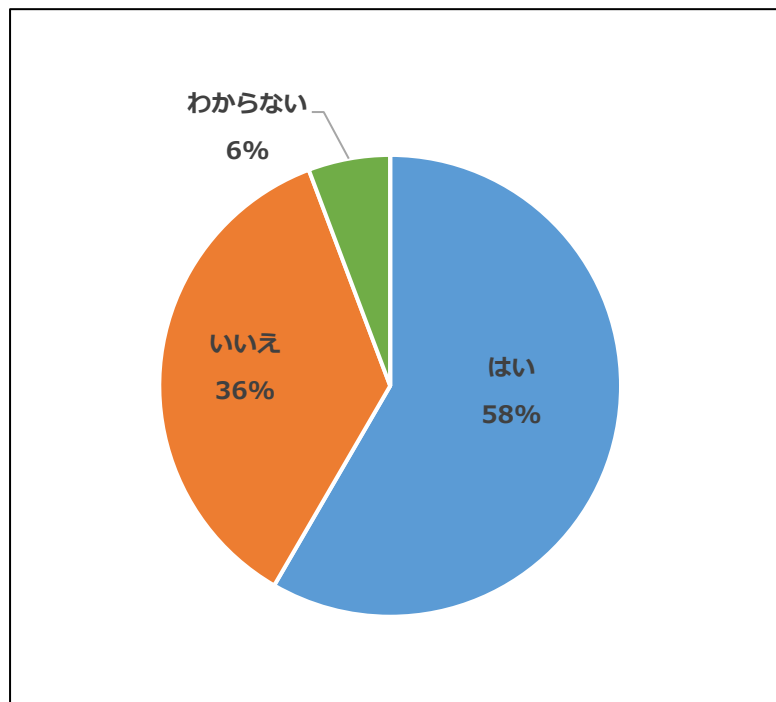
Q1	所属局（R6.11.18時点）を選択してください。
----	---------------------------

※回答省略

Q2	年齢を選択してください。	
	選択肢	割合
	10代	0.04%
	20代	13.21%
	30代	24.59%
	40代	25.87%
	50代	27.64%
	60代	8.65%
	未回答	0.00%
	総計	100.00%

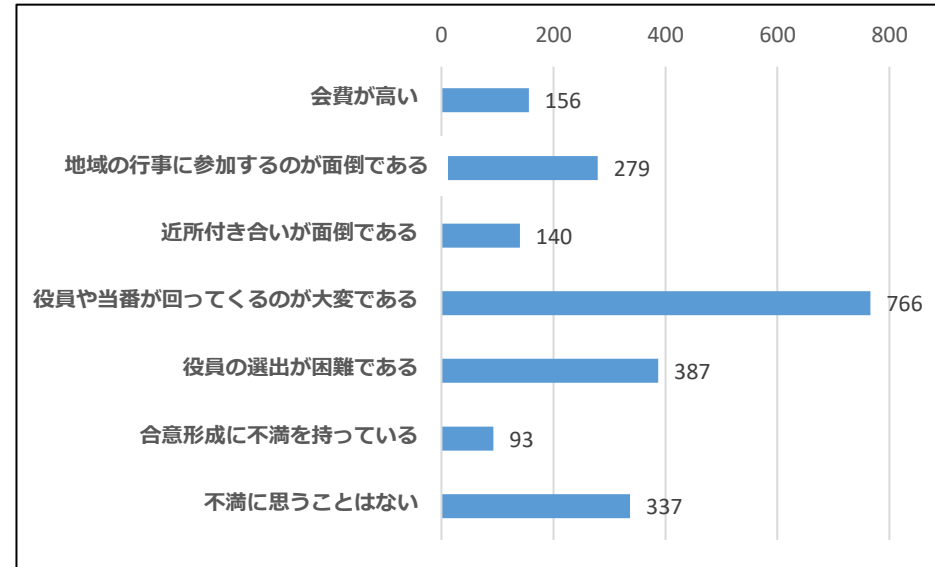


Q3	あなたの世帯は自治会に加入していますか？	参考					
		R2年度		H28年度			
選択肢		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
はい		1,282	58.38%	1,458	60.17%	2,164	68.05%
いいえ		788	35.88%	710	29.30%	757	23.81%
わからない		126	5.74%	173	7.14%	229	7.20%
未回答		0	0.00%	82	3.39%	30	0.94%
総計		2,196	100.00%	2,423	100.00%	3,180	100.00%



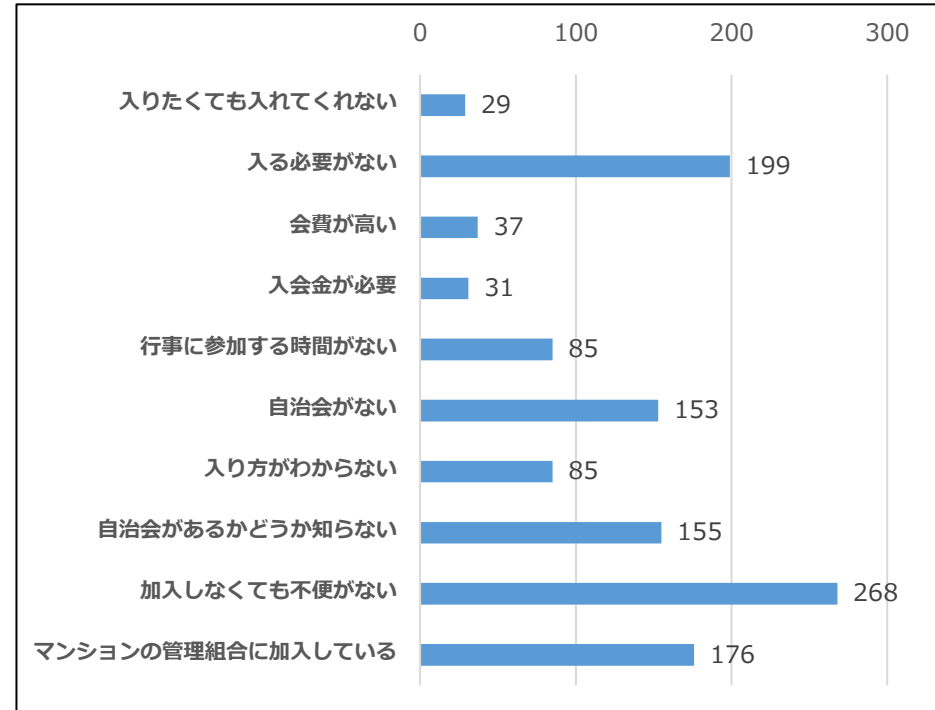
(複数選択可)

Q4	(自治会に加入している方) 加入していて不満に思うことを選択してください。	
	選択肢	回答数
	会費が高い	156
	地域の行事に参加するのが面倒である	279
	近所付き合いが面倒である	140
	役員や当番が回ってくるのが大変である	766
	役員の選出が困難である	387
	合意形成に不満を持っている	93
	不満に思うことはない	337
	総計	2,158



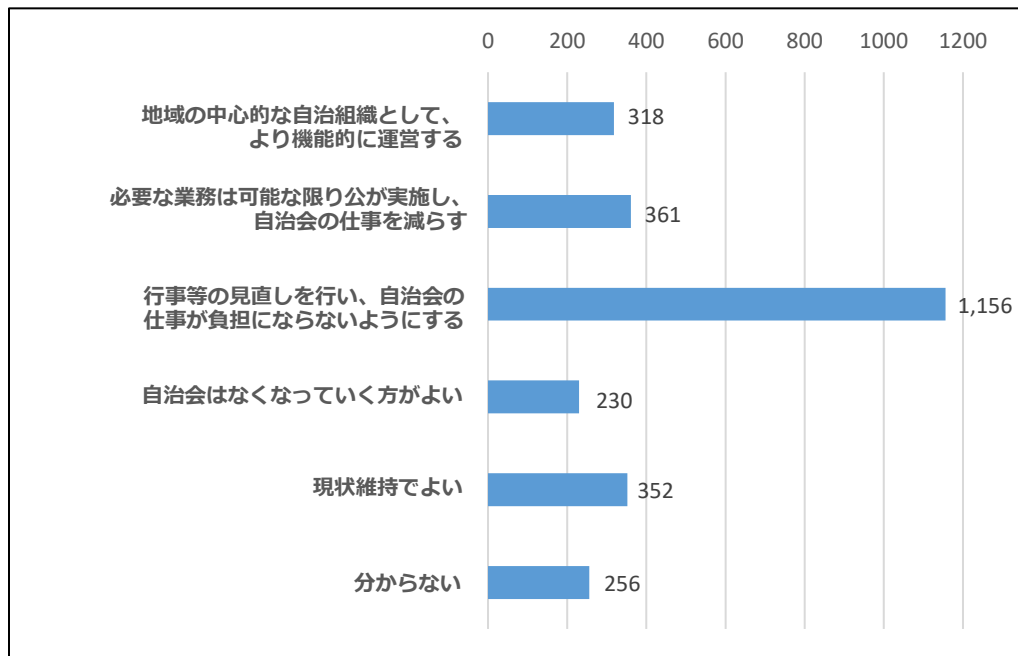
(複数選択可)

Q5	(自治会に加入していない方) 加入しない理由を選択してください。	
	選択肢	回答数
	入りたくても入れてくれない	29
	入る必要がない	199
	会費が高い	37
	入会金が必要	31
	行事に参加する時間がない	85
	自治会がない	153
	入り方がわからない	85
	自治会があるかどうか知らない	155
	加入しなくても不便がない	268
	マンションの管理組合に加入している	176
	総計	1,218

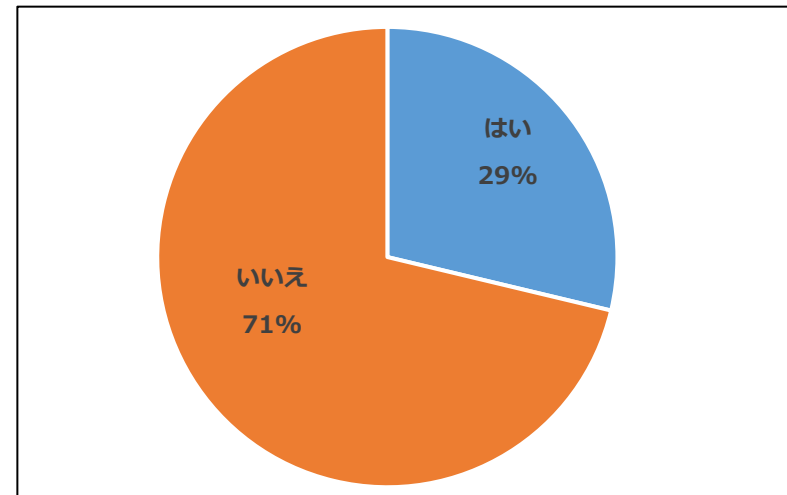


(複数選択可)

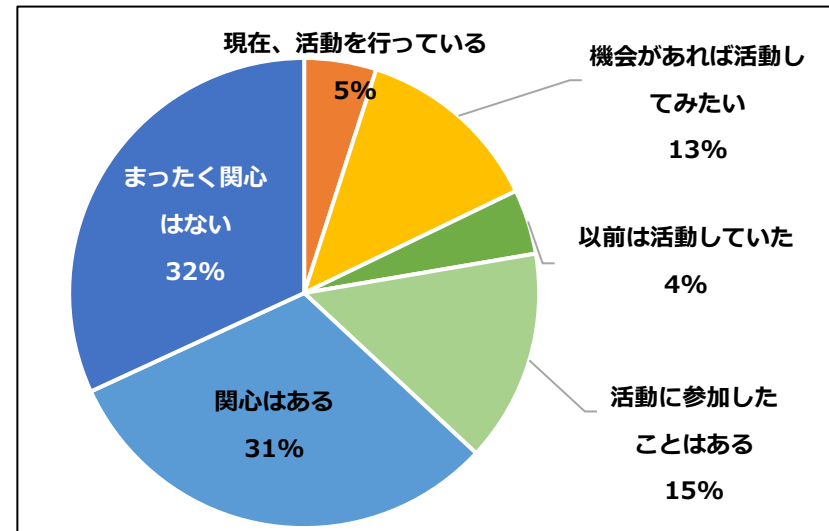
Q6	自治会は今後どのようなになればよいと思うか、選択してください。	
	選択肢	回答数
	地域の中心的な自治組織として、より機能的に運営する	318
	必要な業務は可能な限り公が実施し、自治会の仕事を減らす	361
	行事等の見直しを行い、自治会の仕事が負担にならないようにする	1,156
	自治会はなくなっていく方がよい	230
	現状維持でよい	352
	わからない	256
	総計	2,673



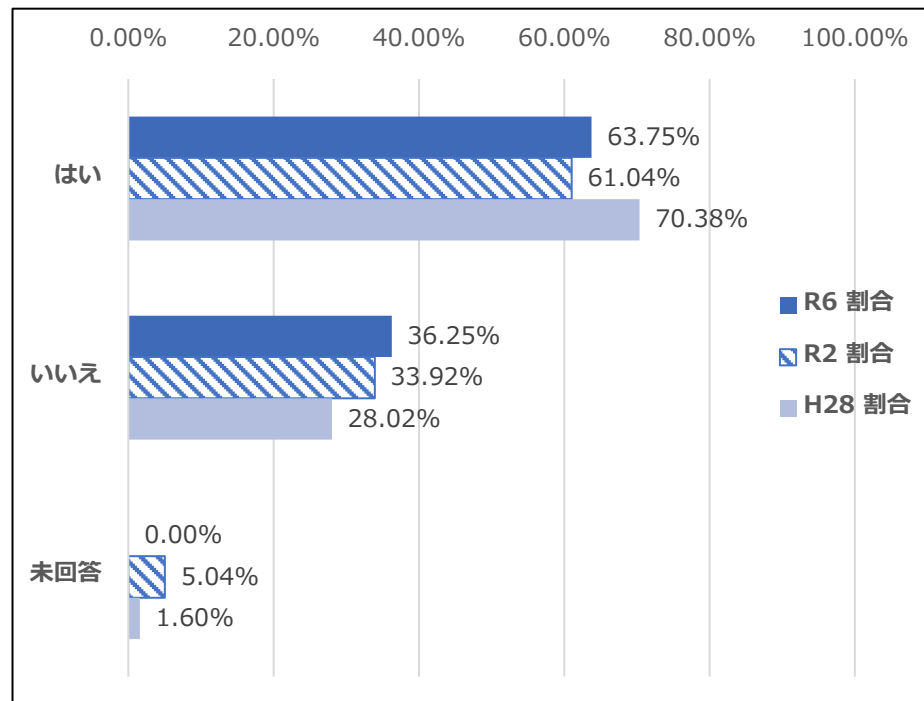
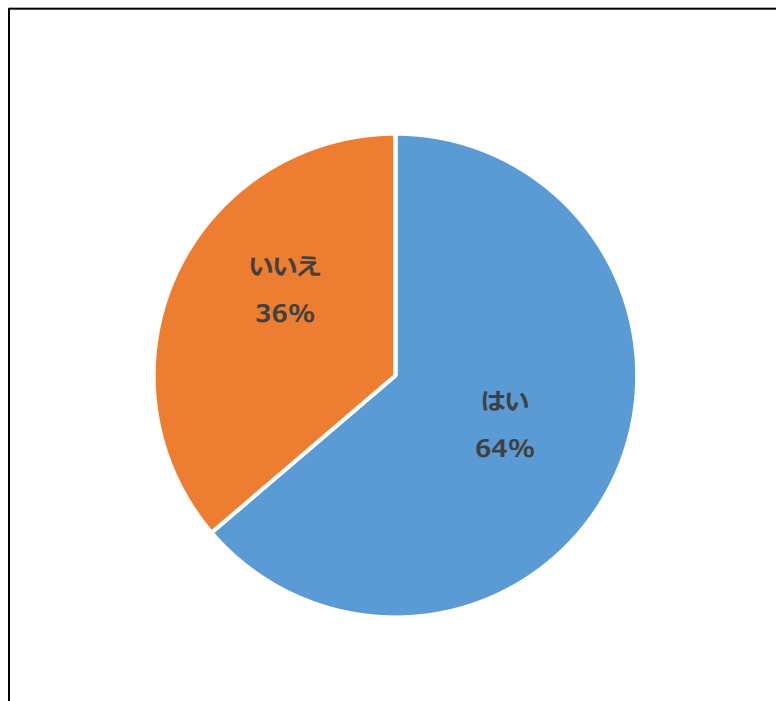
Q7	市民活動団体の活動に参加したことはありますか？		
	選択肢	回答数	割合
	はい	631	28.74%
	いいえ	1,565	71.27%
	総計	2,196	100.00%



Q8	市民活動団体の活動に対する関心は、どの程度ありますか？		
	選択肢	回答数	割合
	現在、活動を行っている	109	4.96%
	機会があれば活動してみたい	283	12.89%
	以前は活動していた	98	4.46%
	活動に参加したことはある	321	14.62%
	関心はある	685	31.19%
	まったく関心はない	700	31.88%
	総計	2,196	100.00%

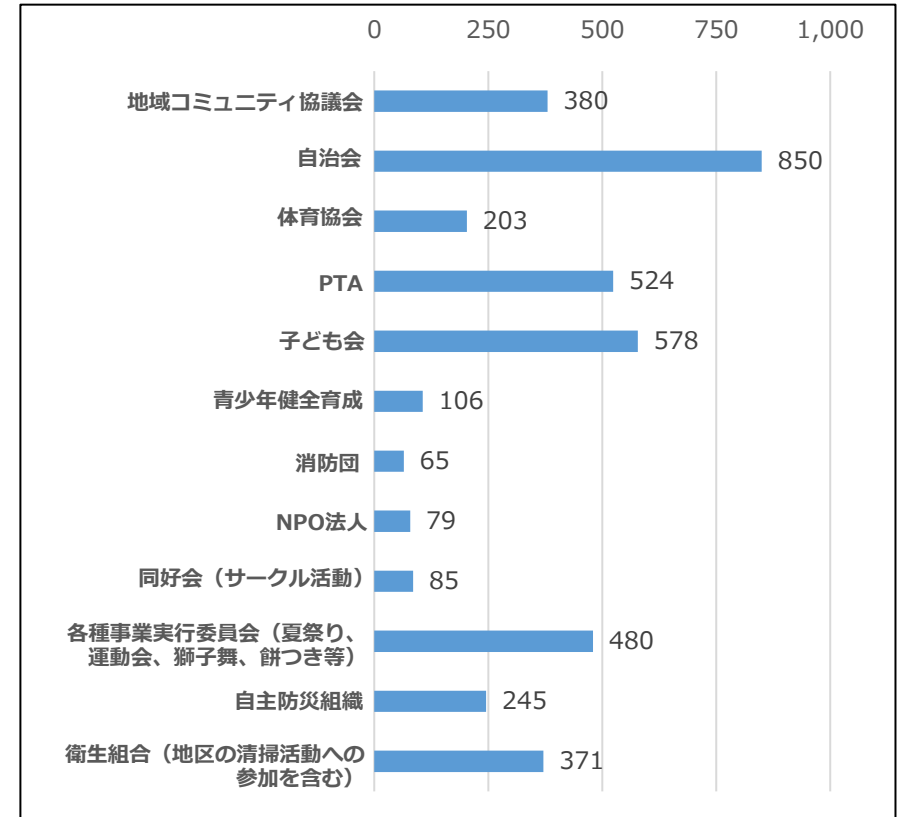


Q9	地域の活動に参加したことがありますか？	参考					
				R2年度		H28年度	
		選択肢	回答数	割合	回答数	割合	回答数
はい	1,400	63.75%	1,479	61.04%	2,238	70.38%	
いいえ	796	36.25%	822	33.92%	891	28.02%	
未回答	0	0.00%	122	5.04%	51	1.60%	
総計	2,196	100.00%	2,423	100.00%	3,180	100.00%	

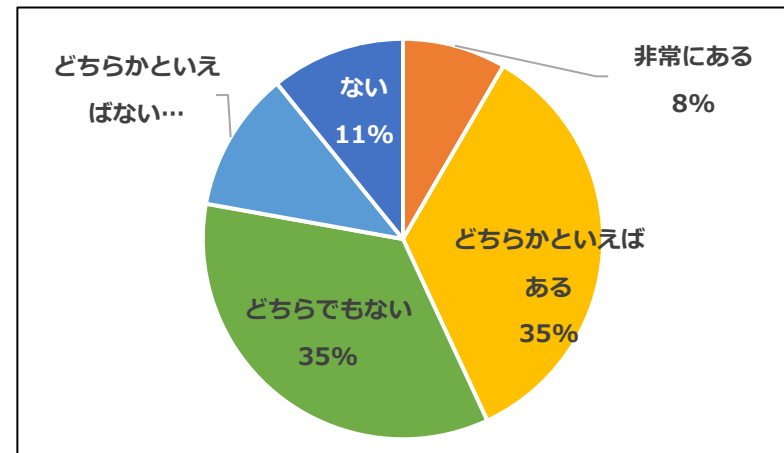


(複数選択可)

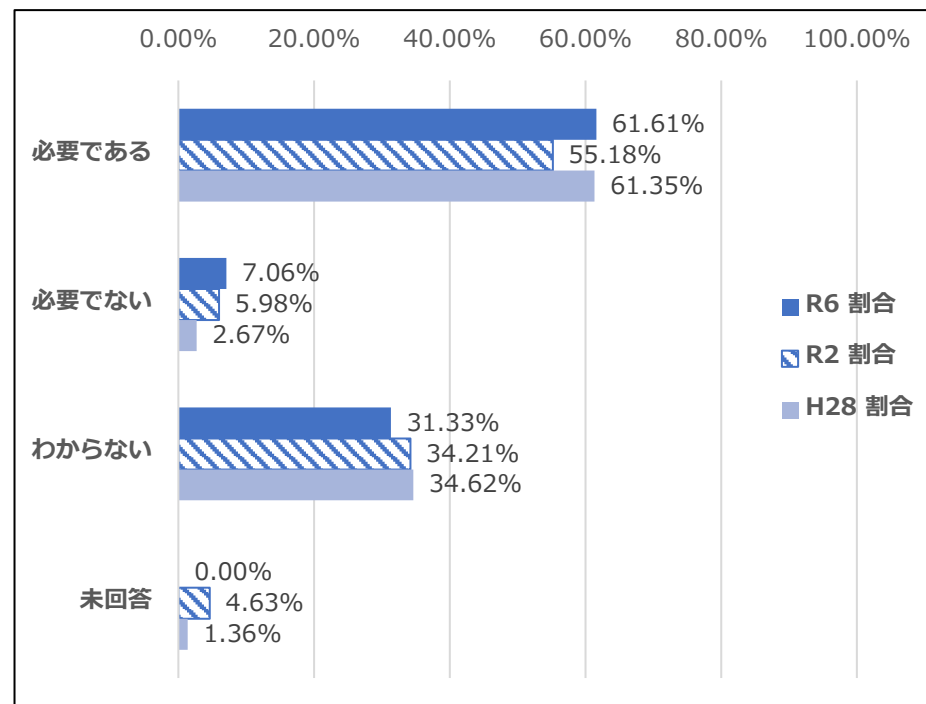
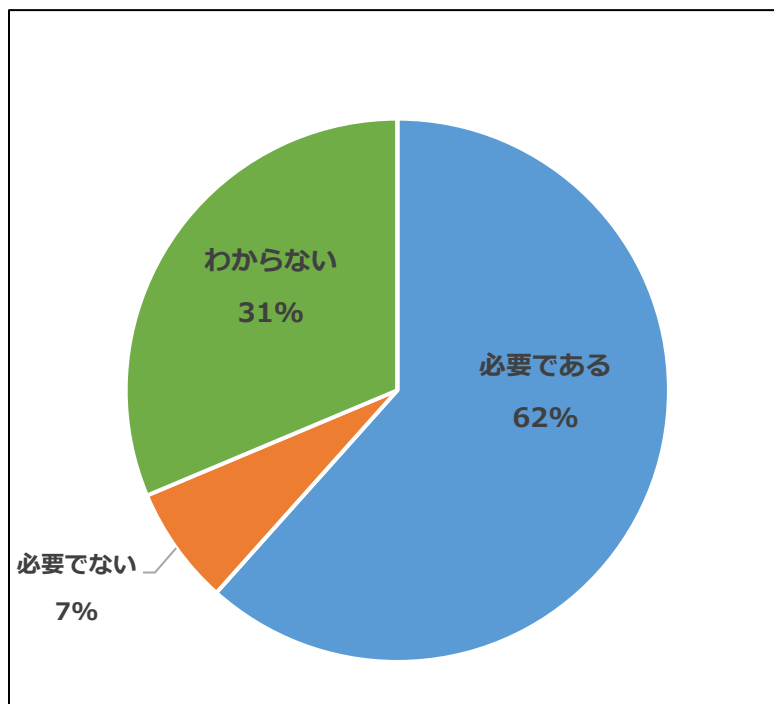
Q10 (参加したことのある方) 活動に参加したことのある団体を選択してください。	
選択肢	回答数
地域コミュニティ協議会	380
自治会	850
体育協会	203
P T A	524
子ども会	578
青少年健全育成	106
消防団	65
N P O法人	79
同好会 (サークル)	85
各種事業実行委員会 (夏祭り、運動会、獅子舞、餅つき等)	480
自主防災組織	245
衛生組合 (地区の清掃活動への参加を含む)	371
総計	3,966



Q11 今後、市の職員が地域の一員として、積極的に地域活動に関わる必要はありますか？		
選択肢	回答数	割合
非常にある	184	8.38%
どちらかといえばある	762	34.70%
どちらでもない	763	34.74%
どちらかといえはない	249	11.34%
ない	238	10.84%
総計	2,196	100.00%

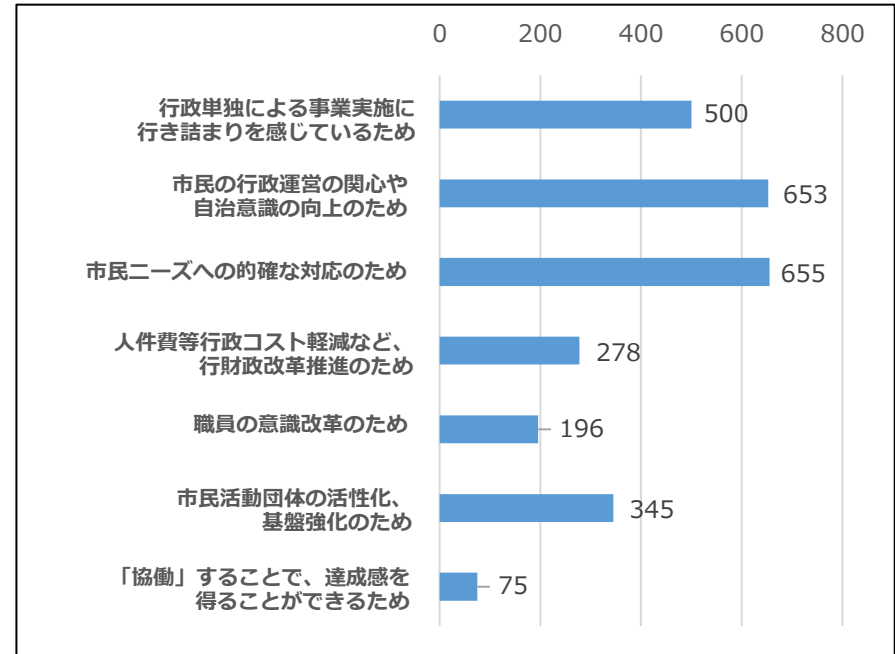


Q12	高松市の施策・事業を推進していく上で、市民活動団体や地域コミュニティ協議会との「協働」についてどう思いますか？	参考					
				R2年度		H28年度	
		選択肢	回答数	割合	回答数	割合	回答数
必要である	1,353	61.61%	1,337	55.18%	1,951	61.35%	
必要でない	155	7.06%	145	5.98%	85	2.67%	
わからない	688	31.33%	829	34.21%	1,101	34.62%	
未回答	0	0.00%	112	4.63%	43	1.36%	
総計	2,196	100.00%	2,423	100.00%	3,180	100.00%	



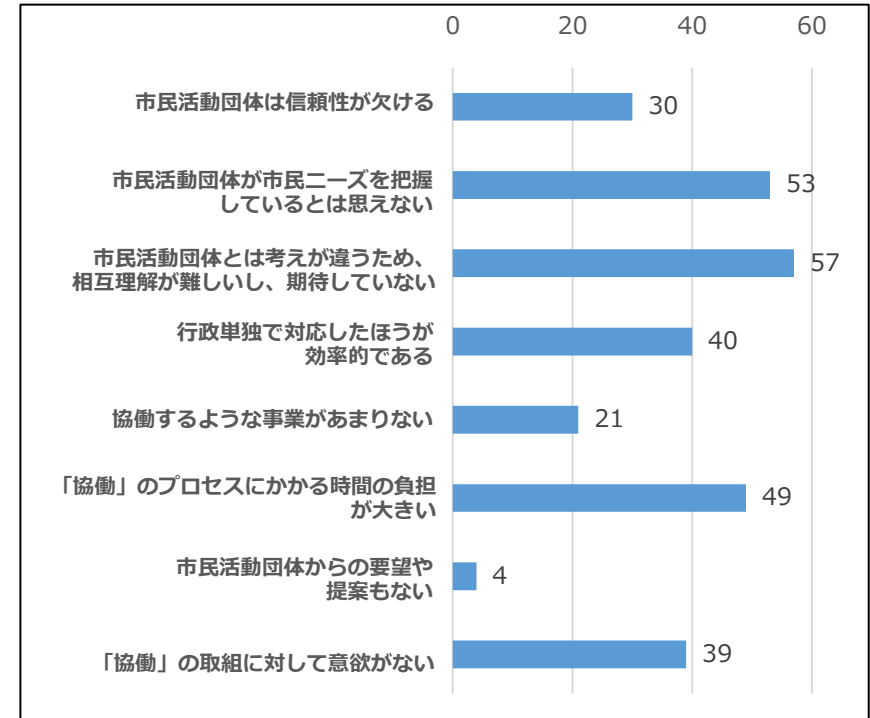
(複数選択可)

Q13 (Q12を「必要である」と回答した方) 「協働」がどうして「必要である」と思ったのか、選択してください。	
選択肢	回答数
行政単独による事業実施に行き詰まりを感じているため	500
市民の行政運営の関心や自治意識の向上のため	653
市民ニーズへの的確な対応のため	655
人件費等行政コスト軽減など、行財政改革推進のため	278
職員の意識改革のため	196
市民活動団体の活性化、基盤強化のため	345
「協働」することで、達成感を得ることができるため	75
総計	2,702



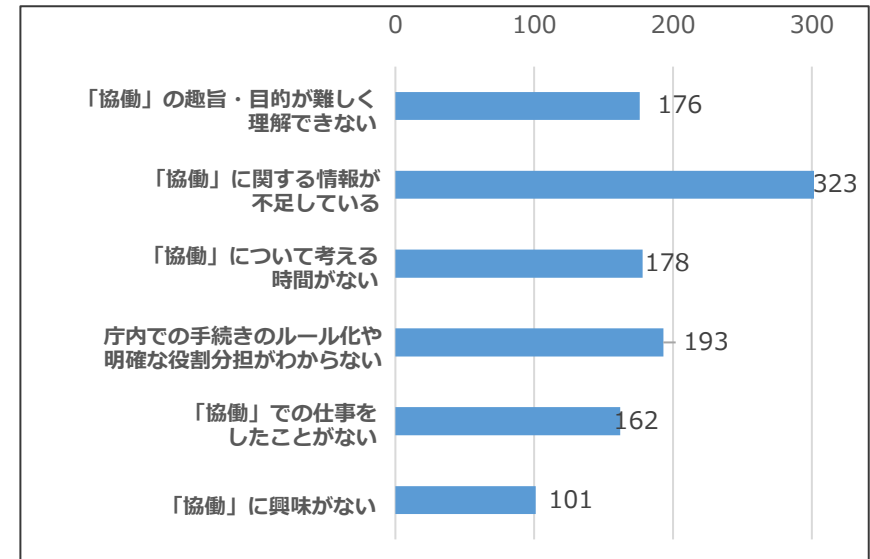
(複数選択可)

Q14	(Q12を「必要でない」と回答した方) 「協働」がどうして「必要でない」と思ったのか、選択してください。
選択肢	回答数
市民活動団体は信頼性が欠ける	30
市民活動団体が市民ニーズを把握しているとは思えない	53
市民活動団体とは考えが違うため、相互理解が難しいし、期待していない	57
行政単独で対応したほうが効率的である	40
協働するような事業があまりない	21
「協働」のプロセスにかかる時間の負担が大きい	49
市民活動団体からの要望や提案もない	4
「協働」の取組に対して意欲がない	39
総計	293



(複数選択可)

Q15	(Q12を「わからない」と回答した方) 「協働」の推進について、どういことが「わからない」のか、選択してください。
選択肢	回答数
「協働」の趣旨・目的が難しく理解できない	176
「協働」に関する情報が不足している	323
「協働」について考える時間がない	178
庁内での手続きのルール化や明確な役割分担がわからない	193
「協働」での仕事をしたことがない	162
「協働」に興味がない	101
総計	1,133



Q16 地域コミュニティ協議会、自治会、市民活動団体、協働について、自由にご意見をお書きください。

(自治会関係)

- ・ アパートで住んでいるいるため、近所つきあいが無い。そのため、知り合いがほとんどいない。
- ・ 活動に参加を希望しない市民に過度な負担がなく、不利益もないようにすべき。自治会、コミュニティ関係のデジタル化推進（文書、オンラインの会合）などを希望する。
- ・ 自治会では役員や祭りの役員等、特定の個人に負担が集中することが多いという印象がある。
- ・ Q3にて自治体に加入していると回答したが、連合自治会には加入しておらず団地内の自治会に加入しているだけである。連合自治会に加入したくても団地内自治会の合意形成が取れない状況である。
- ・ 自治会が任意加入なのであれば、この先負担感（金銭面・行事面など）から加入しない家庭が増え、なくなると思う。しかし地域の清掃など必要なこともあるので、加入している人だけが負担するのではなく、自分の住む地域のことなので、自治会に住む全員で本来はすべきことなのだと思う。
- ・ 自治会に入りたいと思っても住んでいる場所がない為どうすることもできない。団地内に街灯がなく夜は真っ暗なので安全ではないと感じる。
- ・ 自治会の存在自体は賛成であるが、あり方は見直す必要があると思う。祭りや子ども会など、「交流」としての自治会は多いに必要であるが、 unnecessary 集まり（飲み会）や、高い会費など、魅力を感じないもの、見合っていない事柄などが多いように感じる。
- ・ 自治会は必要だが、共働きで役員や行事に負担感があり、できれば会費に差をつける（役員ができない・行事に参加できない場合は多く会費を払う。若しくは役員をした人・行事に出た人には会費から手当的なものを支払うなど）ことで対応したいが、そもそも自治会に入っていない人は何の負担もなくかといって特に困ることもない（ゴミの回収もしてもらえし、きれいな公園も使える）ので、不公平感がある。そこが改善されないと加入者は減る一方だと思う。
- ・ 自治会へ加入していませんが、地域の行事（冠婚葬祭・清掃活動）は声がかかるため参加してコミュニケーションをとっています。昔ながらの地区に住んでいますが、自治会活動への参加を強制されませんが、みなさんの参加率もよく、良いバランスが取れているように感じています。
- ・ 自治会やコミュニティの高齢化で、地域清掃などができない地域も増える中、災害時などのいざという時の地域のつながりのためにもう一度再構築していくことも大切だと感じます。
- ・ マンションを借りて住んでいるので、自治会との関係が薄いのが現状です。ただ、実家の方は入っているので、ゴミ出しや、清掃など暇では無いと分かっています。高齢者ばかりの自治会で、仕事が増えるのは問題だとは感じています。

Q16	地域コミュニティ協議会、自治会、市民活動団体、協働について、自由にご意見をお書きください。
-----	---

(協働、市民活動関係)

- ・ 「協働」という言葉はイメージできる人は随分増えたとは思いますが、地域が良くなる手段として、協働による具体的なメリットやインセンティブが抽象的すぎて、人の心に刺さらないのだと思います。
- ・ 協働推進員としての役割も地域によって格差が激しく、かかわり方も難しい。
- ・ 業務の中に地域の会議（民生委員やコミュニティ協議会長など各組織の代表者の集まり）に出向く機会があるが、行政の対応の悪さや融通の利かなさなど、苦言されることが多い。担当業務でなくわからないなと思うことも多く、普段地域にあまり出向かない課も定期的に地域の団体に出向き顔の見える関係性を構築できれば、お互いの思いも話しやすくなるのではと思う。
- ・ 今年度、協働に関する研修を受講し、協働の必要性を理解できたが、具体的に自分が何をすればよいのかまだ分かりません。
- ・ 市の職員として、市民の皆さん、特に地域を牽引して頑張っている皆さんがどんなことを行政に手助けを求めているか、関心があるのか、地域に入っていらずしてどうやってニーズにフィットした施策が出来るのかと思っています。もっと職員一人一人が積極的に地域に入って行政との橋渡し、協働推進員のような働きを任命うけているか受けていないかは関係なくするべきだと思います。それこそが市役所職員としての使命であり醍醐味であり面白さであると思います。毎年決まった内容の研修でなく、そう思えるような生きた研修や実体験が必要なのかなと思います。
- ・ 地域の課題を地域で解決することができず、行政に答えを求めてくる場合がありますが、行政側もそれらの答えに対する明確な答えを持っているとは限らないため、既に課題を解決した経験のある人と悩んでいる人を繋げる役割を行政が出来たらいいのかなと思います。
- ・ 協働が不必要だとは思わないが、協働は必要でない理由に列挙されているようなことを感じるが多々あり、協働によって課題解決するのは大変だと思う。
- ・ 市民活動団体や地域コミュニティ協議会との協働は必要だと思うが、現在、地域でまわっている部分が行政が介入しすぎると、それを崩す可能性も考えられるため役割をしっかりとお互いに確認し合い、地域の力を維持増進するかたちでの協働であれば良いと思う。
- ・ 人口減少や少子高齢化が進む中、市民活動団体や地域コミュニティ協議会との協働がますます重要になってきていると感じる。
- ・ 近年、企業等との連携を推進する雰囲気はあるが、協働企画提案事業もなくなった今、市民活動団体との接点は乏しい感じがしており、市として市民活動団体との協働を積極的に考えているのか分からない。
- ・ 行政だから、地域だからという区分に関係なく、市職員でも地域の人でも「協働」という概念を理解していない人は依然としているため、引き続き、地道に周知啓発していく必要がある。

Q16	地域コミュニティ協議会、自治会、市民活動団体、協働について、自由にご意見をお書きください。
-----	---

(地域コミュニティ協議会、地域活動関係)

- ・ いろいろな事件等がある中、地域のつながりは大切であると感じる。高齢化や地震等の災害など地域と協働していかなければいけない場面はたくさんあると感じるので今後の在り方について考えていかなければならない。
- ・ 地域の体育祭や、夏祭り、文化祭などに参加させてもらってます。たくさんの方々と交流させていただき、知り合いも増え、地元のことより見えてきました。こういう日頃の年代を超えた交流を通して、有事の際の助け合いもスムーズに声掛けあって行けるのだと思いました。
- ・ 現在の仕事をしながら、地域の活動に参加できるほどの時間や心の余裕が全くないのが現状です。
- ・ 地域行事に参加することが後々に仕事で役立つこともあったので、現在参加していない職員には、積極的に参加してもらいたい。
- ・ 地域によって活動の濃度に差異があるように感じる。活発な活動を広報等でお見かけし、また参加したいといつも思っています。
- ・ 地域の人でも地域活動にやりがいを感じる人、面倒と思う人がいる。私は、地域活動に参加する中で、やりがいを感じることもあるが、なぜ自分ばかりやらないといけないのか、と思うことがある。一緒にやっている人が困るから、という使命感でやっている節はある。頑張れる人が休みたい時に気軽に休めるような地域活動であれば、継続していくことは可能であると思う。
- ・ 行政とコミュニティ協議会等の団体が、お互いの立場や役割分担を明確にした上で、必要な分野において積極的に協働を進めることが望ましい。
- ・ 地域コミュニティについては、今後より一層担い手としての重要性は増してくると思うが、それを支えるマンパワーは少子・高齢化を迎えている中で厳しさがあるため、どれだけ裾野を広げていけるかが課題である。
- ・ 地域コミュニティ協議会は地域の中心として大きな役割を担っていると思うが、若い世代がもっと興味をもてるようなことが進めら、住みやすい地域を目指していければと思う。
- ・ 理屈として、地域コミュニティの重要性は理解しているつもりだが、いざ自分ごととして捉えたとき自分の家庭の用事が忙しいことを理由に、参加できない状況である。
- ・ 共働き世帯の増加や、少子高齢化、価値観の多様化等により地域活動等に参加する余裕がない方や関心がない方は今後も増える傾向にあると思われるので、市の職員が地域の一員として率先して関わるなど積極的な対応が必要であると考えます。
- ・ 市役所職員である以上、地域団体と積極的に関わっていくことは重要だと思います。仕事上はそれについて指示があることに対して何ら思いませんし、むしろ指示がなくても自ら進んで行っていくべきだと感じています。ただ一点気を付けることとしては、仕事以外のプライベートの部分で地域に対してボランティアを半ば強要することにならないようにはしたいと思っています。地域活動を行っていて感じるのは、強制になると地域活動に対する印象が悪くなることが多く、長期的にみるとマイナスに働くと感じています。

Q16	自治会、地域コミュニティ協議会、協働、市民活動団体について、自由に御意見をお書きください。
-----	---

(その他)

- ・ 我が家はマンション住まいなので地域の自治会には入っていないが、小学生のわが子のために子ども会には入っている。子ども会に入ったことで同じマンション含め近所の子どもや保護者とつながることができ、加入前より安心して暮らせていると思う。ただ、調査にある「市の職員が地域の一員として、積極的に地域活動にかかわる必要」についてはないと思う。職員に強要するようであまり好ましいと思えない。まず地域の活動をしてよかったと思ってもらえる体験ができる場を設けるといいと思う。
- ・ 各団体が別々に動いているような感覚で、相互連携が取れていないように感じる。また、運営側は常に同じ方がしており、参加者も固定化している様を感じる。結果、意識している方と興味関心のない方との考え方の乖離が起きており、顔の見える関係性もできていないのが現状と思う。現状では、積極的に地域活動に奉仕してくれている方の負担が大きくなるだけで、有事の際に「共助」が機能するのか不明であると感じる。本市職員がそこに介入することは難しいかもしれないが、運営側、参加者側双方にどのようなメリットがあるのか広報することはできるのではないのか、職員1人1人が考えていく必要はあると思う。
- ・ どのような活動においても、市の職員だから積極的に参加しなければならないというような強制ではなく、誰もが自ら進んで気軽に参加できるようになればいいと思う。
- ・ 自身が世帯をもつと必要性が分かるようになり、順番に役がまわってきても「務め」と思えるようになった。高齢者の方々が登校見守りや落ち葉清掃をしてくださっていると、自然と「ありがとうございます。」と伝えられるようになった。今はこういった活動に苦手意識をもつ人が増えているが、全部を行政が担うのも無理があると思う。今後は防災・防犯・街の清掃といった活動に力を入れて、「ボランティア」という感覚よりも「必要だから、皆で・自分たちでやる」、ということ、皆で実感し合うのも大事だと思う。
- ・ 生活していくうえで本当に必要なのは、横のつながり。強制ではなく、できる人・できる時に積極的に参加し、無理のない範囲で広がっていくといいと思う。自分たちのために…という意識が住民にもてると良い。特に、災害時などのことを考えて。
- ・ 職員が職務を遂行するに当たり、地域コミュニティ協議会との協働や情報共有、意見交換などが必須であることを、全職員に対し意識づけを行うよう取り組んでいただきたい。
- ・ 地域の中で暮らしていくためには、お互いにルールを守りながら役割分担が必要だと思います。高齢者や障害等のために役割が担えない場合は、免除したり思いやりのある地域づくりが必要だと痛感します。子ども会やPTA、自治会などで出会った方々とのつながりは大切にしていきたいと思います。災害時の共助などにも役に立つと思います。